

子どもたちの声

- ・震災復興のための活動に協力する経験から、行動することに手本、目標にしていきたいと思いました。（小学6年生）
- ・東日本大震災のことは知っていたけど、津波で苦労したことや、原子力災害が大きく被害が出たことを知りました。取材をしている中で震災の苦労を強く感じました。（小学5年生）
- ・ジャーナリストスクールを通して、仲間とも思い出をつくることが出来ました。新聞の大切さについて改めて知ることができ、とてもうれしかったです。また参加したいです。池上先生の話にもとても感動しました。（中学1年）
- ・震災の復興はまだ続いているということが実感できた。（小学5年）
- ・前は、自分視点でしか書いていなかったけれど、新聞作りを通していろいろな視点で書けました。（小学6年）
- ・とても難しかった。身近に新聞記者という仕事を感じ、面白さを知ることが出来た。（中学3年）
- ・初めて復興に携わる団体に取材することで世界が広がった。ほとんど記憶のない震災をより深く学べた。また来年も学びたい。（中学1年）
- ・僕は、この活動を通して、聞く力やメモする力がついたと思いました。僕が分かりたいことや、こんな経験できないから。参加して、よかったと思いました。（小学5年）
- ・被災地域の復興はまだまだ不完全で進めていかなければと思いました。復興地域の復興に早く参加したい。（小学6年）
- ・事前の調査が重要だということ。ネットに書かれていることが事実なのか確認することも取材の一つだということ。誰もが分かりやすい記事にすることがどれだけ難しいか。こんなに充実した4日間が過ごせるとは思っていなかったのだから、参加してよかった。小学生の心を思い出すことが出来てよかった。（高校3年）
- ・日本を代表するジャーナリストの池上先生の話には、一言一言に重みがあり、心に刺さる話ばかりで感動した。原稿を作るのは大変だったが、完成して手元に新聞が来た時はうれしかった。（中学2年）
- ・ジャーナリストの方々が、毎日これ以上の労力をかけて取材しているということが分かった。様々な制約の中で満足できるものが作れてうれしかった。（中学2年）
- ・知らないことをたくさん知ることが出来て、学びがたくさんありました、初めての人とも仲良くなれてとてもうれしかったです。写真選びや意外と知らない新聞のことが知れたのでよかったです。（中学2年）
- ・とても楽しかった。今の復興の状況を知れてよかった。（小学6年）
- ・質問するとき、言葉一つ一つにこだわっているところを知り、ジャーナリストの魅力を感じた。（小学6年）